



今年度の「あきた型学校評価」をお知らせします No.2【生徒指導】

前号では【学習指導】についての取組を紹介しましたが、今回は【生徒指導】の取り組みを紹介します。今年度は「場に応じたあいさつや返事の定着」を具体的な目標に掲げて、取り組んできました。今年度の反省を次年度に生かしていきたいと思ひます。

重点目標	場に応じたあいさつや返事の定着を図る。	P
現状 (R4年4月)	<p>令和3年5月と9月に行った地域の方々（各町内の安心・安全見守り隊）へのアンケート調査では、両方とも平均2.9点であった。また、11月実施の保護者アンケート「進んであいさつや返事を行うなどの礼儀ができている」という質問では、全校2.8点であった。</p> <p>令和3年度は「場に応じたあいさつや返事の定着を図る」ことを重点目標として全職員で共通理解するとともに、新しい児童会においても「気持ちのいいあいさつ、一生懸命取り組む岩谷っ子」をテーマに設定し、全校であいさつの励行に取り組んできた。</p>	
具体的な目標	保護者・地域住民への「あいさつ・返事」に関するアンケート調査で、平均3.0点以上を目指す。	
目標達成のための方策	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童会・子ども会を中心に、全校で「あいさつ運動」を展開する。 2 大内中学校と連携して、小中合同あいさつ運動を実施する。 3 学級活動、道徳の学習で「礼儀（あいさつや返事）」の大切さを指導する。 4 朝、校長が校門前で登校指導を行うとともに、あいさつを呼び掛ける。 5 学校だより等で、保護者や地域住民に「あいさつや返事」の指導・協力を依頼する。 	
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○「笑顔いっぱい 元気なあいさつ コロナに負けない 岩谷っ子」をテーマに決め、児童会運営委員会を中心に月曜・水曜・金曜の朝にあいさつ運動を行っている。あいさつの良い児童を昼の放送で紹介し、全校の意識高揚を図っている。 ○6月と10月に大内中学生会との小中合同あいさつ運動を実施。大内地区小中子ども会議（オンライン）を実施し、重点事項を3校で確認した。 ○全校集会であいさつや返事の大切さと励行について指導するとともに、学級でも日常的、継続的に指導するなど全校で取り組んでいる。 ○校長が朝、校門前で全校児童に朝の声かけを行っている。 ○あいさつの意義や学校での取組について、学校だよりや学年だよりを通じて紹介し、あいさつの励行について地域・家庭に協力を依頼してきた。 	D
達成状況 (R5年2月)	<ul style="list-style-type: none"> ○11月に実施した保護者アンケートでは、「進んであいさつや返事を行うなどの礼儀ができている」という質問で全校2.77点であった。（昨年比-0.03点） ○校外指導部員（17名）へのアンケートでは「あいさつがきちんとできている（9名）」という意見とともに、「もう少し大きな声だと良い（4名）」という意見をいただいた。 	

○児童会運営委員の教室を巡回しての呼びかけや、各学年のあいさつ名人を紹介する等の活動によって、全校児童に「あいさつをがんばろう」という気持ちが芽生えてきている。

自己評価
B

- ・保護者・地域住民への「あいさつ・返事」に関するアンケート調査では、目標に近かったものの平均3.0点以上を達成することができなかった。
- ・児童会あいさつ運動、校報・全校集会での呼びかけ、学級指導、小中合同あいさつ運動等、具体的な取組により、その時々意識は高まり行動に表す姿は見られるが、登下校時や地域の中で「笑顔いっぱい元気なあいさつに」というところまで定着していないという点が課題となっている。
- ・コロナ禍で新しい生活様式により、マスクの着用が日常化しており、子どもたちの意識と行動に若干の影響があったと思われる。

C

学校関係者評価と意見
A

- ・保護者のアンケート集計からは、評価のすべてを読み取ることは困難なため、自分の子どもから聞くクラスの様子とスポ少指導者としての子どもたちの様子から、特に6年生の落ち着きの変化には驚かされた。また、低学年も人の話を素直に聞ける姿勢が備わっていると感じている。運営協議会でも話題となった「自ら」「大きな声」でのあいさつは継続の課題かもしれません。
- ・登校時のあいさつですが、大人があいさつするのを待ってあいさつする子どもが多い。自ら進んであいさつができるよう頑張ってもらいたい。あいさつは、基本的に家庭のしつけなので、家庭でしっかりできるようになることが必要ではないかと思います。保護者アンケートの中で、保護者自身の自己評価について「基本的なしつけ」は4段階評価で「3.12」と良い評価をしているようです。早く、あいさつを自ら進んでできるようになってほしいと思います。
- ・2月8日（水）の児童会総会参観の時に、体育館へ入る児童と一緒になりました。全員元気な声で「こんにちは！」「ご苦労様です！」とあいさつしてくれ、とても爽やかで嬉しかったです。総会でもほとんど全員が起立してハキハキと意見を発表していて感動しました！この発言力に自信をもって、いろいろな場面で生かしてほしいと思っています。

C

自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策

- ・児童会の活動や小・中学校の連携等、あいさつ・返事の励行につながる取組は引き続き継続していく。その中で、活動がマンネリ化したり形式的になったりしているものは、内容を見直して必要なものに更新していく。
- ・全校集会や学級活動、道徳教育を通して、あいさつを含めた礼儀の意義やあいさつ・返事の励行を働きかけて、児童の意識付けや行動の変容に努めるとともに、授業でのあいさつ・返事の向上等、学習指導での取組を共通理解し実践していく。
- ・保護者アンケートの結果を基に、学校での取組に反映させていく。
- ・学校の取組とともに家庭へ協力を仰ぎ、学校と家庭が連携してあいさつの向上及び児童の望ましい生活習慣の確立に取り組んでいく。(校報、PTA等)

A

来年の岩谷小は任せたぞ！
～子ども会で新役員が決定！～

2日（木）に子ども会が開催され、新年度の登校班のメンバーを確認しました。4月からは新1年生を加え、5年生をリーダーとした新しいメンバーとなります。事故なく安全に登校することができるためにも、先輩のいうことを聞いて、ちゃんと歩いてきてくださいね。6年生は1年間お疲れ様でした。この班で通えるのも、あと6日しかありません。寂しいなあ。

小友唯心塾 県大会を制覇し 東北・全国大会への出場決定！

柔整旗全県小・中学校柔道大会で、***さん（四年）の出場した小友唯心塾が団体戦で見事に優勝し、東北大会と全国大会への切符を手にしました。おめでとうございます。

（二月二十七日付・秋田魁新報）